

2026年4月

東京女子大学 現代教養学部 全学生の皆さんへ

生成 AI の利用に関する注意喚起

東京女子大学 教務委員会

近年、ChatGPT などの「生成 AI (以下 AI)」は急速に高度化・普及しており、日常生活においても広く利用されるようになっていきます。これらのツールは、効率的な作業の実現等、活用方法によっては大変有用ですが、誤った使い方をすると、自身の思考能力や情報処理能力を向上させる機会を失うだけでなく、本学の規程に基づき、学業上の不正行為と見なされる等、懲戒処分の対象となる可能性があります。

レポート、論文、課題等の作成にあたり、AI を使用する場合は、以下の点に注意してください。

・ AI の利用可否および利用する際の条件設定を確認してください

本学では、各科目における AI 利用の可否および利用する際の条件設定を、授業担当者の判断に委ねています。

課題・レポート等を作成する際は、まず授業担当者からの指示を確認してください。

授業担当者の指示に反して AI を用いて作成した課題を提出することは、不正行為として扱われる可能性があります。

授業担当者により AI の使用が認められている場合でも、AI が生成した文章やアイデアを利用した場合は、その旨を明記し、使用したツールの提示が求められることがあります。利用にあたっては、授業担当者の指示に従ってください。

・ AI の回答には誤った情報が含まれることがあります

例えば、レポート作成にあたり生成 AI を使用して参考文献を調査した場合、ハルシネーションにより、誤ったタイトルの論文や実在しない文献、内容の異なる要約等の情報を提示されることがあります。AI が提示した内容については、一次資料等、他の信頼できる情報源と照らし合わせ、必ず自身で事実確認を行う必要があります。提出されたレポートに剽窃や誤った引用、捏造等が確認された場合や、出典を明らかにできない場合には、本学の規程に基づき、懲戒処分の対象となる可能性があります。

・ 情報が漏洩する可能性があります

AI に機密情報や個人情報を含んだ内容を入力することにより、これらの情報が漏洩する可能性があります。こうした情報は慎重に取り扱い、安易に入力しないでください。

・ 著作権を侵害する可能性があります

AI が提示する情報には、既存の著作物と酷似した内容が含まれる可能性があります。AI が提示する情報をそのまま使用することで、意図せず著作権を侵害する恐れがありますので、この点についても十分注意が必要です。

・ AI が補助的な役割にとどまるように活用してください

当然のことながら、レポート・論文等を AI に全面的に作成させ、あたかも自分の執筆であるかのように提出することや、試験で不適切に AI を用いて解答を導き、それを提出することは不正行為です。また、他人の文章や論文を AI に要約させ、自作と偽って提出することも認められません。AI が提供する情報は、参考資料として位置づけられるべきものです。最終的な成果物は、皆さんの思考に基づいた内容とすることが重要です。

何らかのツールに入っているなど、気づかないうちに AI を使っている場合もあります。AI を使う、使わないに限らず、出典を確かめる等、自分の書いたものに責任を持つ姿勢を大事にしてください。

学生の皆さんが AI を正しく活用し、主体的な学びを深めることを期待しています。